



アイリスオーヤマ
クラシックスペシャル
2022

伝説は進化する

GIDON / ヴァイオリン
KREMER
ギドン・クレーメル × 仙台フィル
SENDAI PHIL

最高峰のヴィルトゥオーソとの共演

指揮 / 高関 健

チェロ / ギョードレ・ディルヴァナウスカイト

《アルヴォ・ペルト》

フラトレス ~ 独奏ヴァイオリン、
弦楽と打楽器のための (1992)

A. Part: Frates (1992 Version for Violin,
Orchestra and Percussion)

《フィリップ・グラス》

ヴァイオリンとチェロのための
二重協奏曲

P. Glass: Double Concert for Violin,
Cello and Orchestra

《シベリウス》

交響曲 第2番

J. Sibelius: Symphony No.2

6/10 [FRI]
開演 19:00
— 開場 18:15 —

会場: 東京オペラシティ コンサートホール

京王新線(都営地下鉄新線乗り入れ)「初台駅東口」下車 徒歩約5分

チケット料金
SS席: ¥20,000 S席: ¥16,000
A席: ¥12,000 B席: ¥8,000 P席: ¥4,000
車椅子席^{※1}: ¥6,000 ユース席^{※2}: ¥3,000 [限定50席]

お申込み
ジャパン・アーツびあ www.japanarts.co.jp ☎0570-00-1212
仙台フィルサービス www.sendaiphil.jp ☎022-225-3934
東京オペラシティチケットセンター ☎03-5353-9999
チケットびあ t.pia.jp [Pコード: 215-930]
ローソンチケット l-tike.com [Lコード: 31950] イープラス eplus.jp

※1. 車椅子席の方は本人と付き添いの方1名までが同じ料金となります。取り扱いにはジャパン・アーツびあコールセンターのみとなります。 ※2. ユース席は演奏会当日25歳未満の方が対象。取り扱いにはジャパン・アーツびあコールセンターのみとなります。年齢の証明となるものを提示の上、公演当日チケットと引き換えになります。お席の指定は応じかねます。 ※未就学児の入場はご遠慮ください。
※開演中の入退場は一切お断りいたします。 ※やむをえない事情により出演者及び曲目が変更になる場合がございます。 ※不可抗力により表記日時の催物を中止する場合は、料金の払い戻しをいたしません。

手指消毒、マスク着用等、新型コロナウイルス感性予防対策にご協力ください。

主催: アイリスオーヤマ株式会社 共催: 公益財団法人仙台フィルハーモニー管弦楽団 株式会社ジャパン・アーツ

25th
Anniversary
Tokyo Opera City
Grand Hall Opening Hall



解説

《アルヴォ・ペルト》の代表作“フラトレス”。持続する低音の上に、透明な聖歌風のフレーズがゆったりと流れる。作為的なドラマを拒否するかのように、始まりも終わりもなく鳴り続ける繊細な響き。《フィリップ・グラス》の“ヴァイオリンとチェロのための二重協奏曲”。独奏楽器が奏でる寄り添ないフレーズが、現れては途切れ、重なっては離れ、ひそやかに対話を続ける部分、そしてオーケストラが干渉し協奏する部分が交互に現れる。いず

れの作品も、聴こえてくる音はシンプルだが、機能的なつながりを持つことはない。19世紀の音楽の論理とは完全に無縁で、成長も展開もなく、あてどのない旅ののち、眼前に風紋の残された巨大な砂丘が立ち現れるような印象を刻む。いずれもギドン・クレーメルが大切に弾いてきたレパートリーであり、フィンランドの国民的作曲家《ジャン・シベリウス》の名曲とともに、当代きっての名ヴァイオリニストを迎えるにふさわしいプログラムである。

作曲家：吉川和夫

研ぎ澄まされた演奏で音楽の核心に迫る
世界的ヴァイオリニスト

ギドン・クレーメル

ラトビア生まれ。モスクワ音楽院でオISTRAフに師事。

1969年にはパガニーニ国際コンクール、1970年にはチャイコフスキー国際コンクールに相次いで優勝。世界各地で演奏を展開し、トップ・ヴァイオリニストとしての地位を不動のものにした。

レパートリーは古典派、ロマン派から現代まで幅広く、現代作品の演奏にも力を入れている。これまでにバーンスタイン、カラヤン、アバド、アーノンクール、マゼール、ムーティ、メータ、ゲルギエフら巨匠の指揮で世界の著名オーケストラと共演。

81年にロッケンハウス室内音楽祭を創設し、毎年夏に開催。97年にはバルト三国の若い音楽家の育成を目的としたカメラータ・バルティカを創立し、世界各地でツアーを行っている。録音も多く、120枚を超えるアルバムに参加しており、高い評価を得ている。ヴァイオリンは1641年製の「ニコラ・アマティ」を愛用。

執筆活動もしており、彼自身の芸術哲学などをテーマにした4冊のドイツ語の著作がある。

2016年高松宮殿下記念世界文化賞を受賞。2017年京都「金閣寺音舞台」に出演。

2016年より仙台国際音楽コンクール・ヴァイオリン部門審査委員。

アンサンブルで絆をつむぐ
「杜の都」のオーケストラ

仙台フィルハーモニー
管弦楽団

1973年創立。東日本大震災では数ヶ月間活動を中止せざるを得ない状態になったが、(公財)音楽の力による復興センター・東北と共に音楽を被災者のもとに届ける活動を展開し、大きな反響を呼んだ。

本拠地である日立システムズホール仙台での定期演奏会、0歳からの演奏会「オーケストラと遊んじゃおう!」、県内各地で開催される「マイタウンコンサート」、日本人作曲家を紹介する「日本のオーケストラ音楽」展など多彩な公演のほか、全国小中学校訪問など年間100回を超える活動を展開している。

クレーメルが絶対的に信頼を寄せる
北欧のチェリスト

ギードレ・ディルヴァナウスカITE

リトアニアのカウナス生まれ。

リトアニア音楽アカデミーで学び、多くの国際コンクールに入賞。ロストロポーヴィチ、ゲリンガス、クレーメル、ハーゲンなどのマスタークラスで学んだ後、ロッケンハウス音楽祭から招かれ、主宰者であるクレーメルやベルガメンシコフらとアンサンブルを行う。

クレメラータ・バルティカの創立からのメンバーとしても活躍。ソリストとしてリトアニア国立響、リトアニア室内管、クレメラータ・バルティカなどの楽団との共演。

室内楽では、クレーメルとブニアティシビリとのトリオで活動を展開するほか、アフナシエフ、アルゲリッチ、バシュメット、ホリガーらと共演を重ねている。

現代曲の演奏にも積極的に取り組んでおり、ギヤ・カンチェリ、ヴィクトル・キーシンらの作曲家の作品を初演している。また、クレメラーティニ弦楽四重奏団のメンバーでもある。

仙台フィルハーモニー管弦楽団
レジデント・コンダクター

高関 健

国内主要オーケストラで重要ポジションを歴任。海外への客演も多く、サンクトペテルブルグ・フィル定期演奏会では聴衆や楽員から大絶賛を受ける。マルタ・アルゲリッチをはじめとする世界的ソリストや作曲家からも絶大な信頼を得ている。

現在、東京シティ・フィル常任指揮者、仙台フィルレジデント・コンダクター、富士山静岡響首席指揮者、東京藝大指揮科教授 兼 藝大フィル首席指揮者。2019年3月にロシアで團伊玖磨のオペラ「夕鶴」を指揮、日ロ文化交流に大きな役割を果たし、2021年4月は新国立劇場オペラ公演、ストラヴィンスキー「夜鳴きうぐいす」とチャイコフスキー「イオランタ」の指揮を務めた。

第50回サントリー音楽賞(2018年度)受賞。

伝説は進化する



精米したてのごはんをそのまま「パックごはん」に。

精米・炊飯・パックを一貫生産! だからおいしい!

精米



炊飯



パック



お米のうまさ引き出す「低温製法米」を使用

インターネットでも
お求めいただけます
アイリスプラザ
0120-975-408
9:00~12:00/13:00~17:00
(土・日・祝日は休み)

アイリスオーヤマ株式会社

〒980-8510
仙台市青葉区五橋2丁目12番1号
http://www.irisohyama.co.jp